

ふれあい“やましな” デジタルスタンプラリー開催予告♪

山科区の歴史や文化にふれあい、ふるさとに一層愛着を持っていただく機会として、スマートフォンを片手に山科を巡るデジタルスタンプラリーを開催します!

実施期間 11月22日(月)～12月19日(日)

内容 山科区公式アプリ「やましなプラス」を使って、山科区内25ヶ所を防災、健康、歴史等をテーマに巡りながら山科の魅力に触れるデジタルスタンプラリー

参加者の皆様には、参加賞(清水焼の箸置き)や、抽選で当たる賞品(びわ湖疏水船2022年春季乗船券等)をご用意します!

※詳細は、市民しんぶん山科区版11月15日号や区ホームページ等でお知らせします。

問合せ 区まちづくり推進担当
(☎592-3088)



この機会にぜひダウンロードを! 山科区公式アプリ「やましなプラス」



「やましなプラス」は山科区内の総合的な情報を発信する地域密着型スマートフォンアプリです。

機能増強中!

主な機能

- 山科区に関するニュースやコラムを配信
- 京阪バスの接近情報と時刻表が確認できる
- 健康ウォーキングでポイントがもらえる
- 山科の暮らしに役立つ便利機能
 - ・山科区役所窓口の待ち人数表示
 - ・オフライン時にも利用できる「防災マップ」
 - ・レストランなどで使えるクーポン など



App StoreまたはGoogle Playで
「やましなプラス」を検索

問合せ 山科区スマートフォンアプリ運営協議会(区総務・防災担当)
(☎592-3066)

読書の秋にいかがでしょう? 山科を舞台にした本



梨木香歩『家守綺譚』 (新潮文庫刊)

それはついこの間、ほんの百年少し前の物語。サルスベリの木に惚れられたり、飼い犬が河童と懇意になったり、庭のはずれにマリア様がお出ましになったり、散りぎわの桜が暇乞いに来たり。

主人公・綿貫征四郎と天地自然の「気」たちとの、不思議でのびやかな交歓の記録。

物語の中で場所は特定されていませんが、読めば山科の情景が広がっていることを感じることができる1冊です。



砂岸ある『月の家の人びと』 (エディション・エフ刊)

かつて志賀直哉が住んで『山科の記憶』を書き、のちに著者の祖父母が移り住んだ「月の家」を題材に描かれた物語。

「月の家」の住人は、夫に先立たれたひな子と4人の子どもたち。病弱な長女・梢、活発な次女・杏、やんちゃで多感な弟・槐、夢見がちな末妹・柚。

60年代の山科を舞台に、著者が大事にしてきた美しいもの、純粋な心、ちよっぴり不思議なできごとが紡がれています。

問合せ 区総務・防災担当(☎592-3066)

最近増えています! こんな特殊詐欺にも注意!

- スマートフォンや携帯電話に『1億5,000万円当選しました。』とのメール。
- パソコンでインターネット利用中に『ウイルスに感染しています。』との緊急メッセージ。そして、サポートダイヤルに電話をするよう指示されます。

▶これらは詐欺です!

メッセージが出てもしすぐに電話をかけないで、
家族や警察に相談してください。

他にもあります、詐欺に遭わないためにできること

- ・不審な電話は、すぐに切る
- ・日頃から家族と連絡を取るようになる
- ・番号表示サービスを利用する
- ・キャッシュカードの利用限度額を引き下げる

問合せ 山科警察署(☎575-0110)

1 大変や...! 電話せな!
ウイルスに感染しています!
サポートダイヤルに電話してください。
☎xxx-xxxx

2 どうしたらいいんでしょう?
大丈夫ですよ。コンビニで電子マネーカードを購入して、カードのセキュリティコードを教えてください。

3 電子マネーを買いました。セキュリティコードはxxxxです。

4 電子マネーの利用権を取られてしまったわ!